



令和6年度「INPIT北海道知財総合支援窓口」運営開始

北海道発明協会は、INPIT（独立行政法人工業所有権情報・研修館）が本年1月に公募を行った令和6年4月～令和8年3月の「知財総合支援窓口運営業務（北海道）」の実施機関として選定されました。これを受け、4月1日から引き続き同窓口を開設し、道内の中小企業等の稼ぐ力の向上と地域活性化に向けて、知的財産の面から各種支援活動を展開しています。

そこで、今月号では、同窓口の運営が、知的財産に携わる数多くの専門家や道内各地の支援機関の連携と協力のもとで成り立っていることを広く知っていただくため、以下の2つの会議について開催結果を紹介します。

まずは、2月28日（水）、TKP札幌駅カンファレンスセンターにて、連携機関相互の情報共有、情報交換、連携活動の拡大を目的として、令和5年度第2回「連携会議」を開催しました。同会議では、北海道経済産業局知的財産室から「北海道における知財活動の状況」について、三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株）（INPIT窓口機能強化事務局）から「令和5年度支援状況報告及び連携事例紹介」について説明があったほか、各支援機関から講習会・セミナーの実施、窓口の周知協力、連携支援実績の紹介があり、令和6年度の支援窓口の利用拡大に向けた一層の連携について意見交換が行われました。

【連携機関】

経済産業省北海道経済産業局
北海道
（独法）中小企業基盤整備機構北海道支部
北海道弁護士会連合会
日本弁理士会北海道会
（独法）日本貿易振興機構
（一社）中小企業診断協会北海道
（一社）北海道信用金庫協会
（地独）北海道立総合研究機構
（一社）北海道商工会議所連合会
（一社）北海道中小企業家同友会
（一社）北海道機械工業会
北海道知的所有権センター
（公財）北海道中小企業総合支援センター
北海道よろず支援拠点
（一財）さっぽろ産業振興財団
（株）北洋銀行
（株）北海道銀行
INPIT
事務局（北海道発明協会）



連携会議の様子



説明する溝下前知的財産室長

また、3月6日(水)、道内各地に設置しているサテライト相談窓口10機関の担当者と道東、道北、道南、道央の知財コーディネーター及び当協会等で構成する「サテライト合同会議」をWEB会議にて開催しました。同会議では、効果的な連携のためのネットワーク作りや商工会議所、よろず支援拠点、産業支援センター等と連携して商品化を支援した全国の事例などについて学び、全道のお客さまからの相談に対応するための各窓口間の連携強化について意見交換を行いました。

【サテライト設置機関】

(公財)函館地域産業振興財団、(一財)旭川産業創造プラザ、旭川商工会議所、(公財)室蘭テクノセンター、(公財)釧路根室圏産業技術振興センター、(公財)とかち財団、北見ビジネス総合サポートセンター・北見商工会議所、(一社)北見工業技術センター運営協会、苫小牧市テクノセンター、(国研)産業技術総合研究所



次号では、知財総合支援窓口の体制などについて詳しく紹介します。



令和5年度第4回理事会を開催

令和6年3月28日(木)午後3時から、札幌ガーデンパレスホテルにおいて、令和5年度第4回理事会を開催しました。小砂会長の挨拶の後、小砂会長により議事が進められ、議案の令和6年度事業計画(案)及び令和6年度収支予算(案)が承認されました。

令和6年度第1回理事会は5月30日(木)午後2時から札幌ガーデンパレスホテルにて、定時社員総会は6月24日(月)午後3時からホテルライフオーソ札幌にて開催する予定です。



挨拶する小砂会長



理事会の様子

創立 1922年
21世紀は知力・英知の時代
弁理士法人 英知国際特許商標事務所
EICHI Patent & Trademark Corp.

弁理士 岩崎 孝治	副所長 弁理士 郡山 順	技術部長 弁理士 柴田 和雄	商標部長 弁理士 岩崎 良子
国際部長 弁理士 田口 滋子	専任顧問 弁理士 永芳 太郎	弁理士 氏原 康宏	弁理士 伊藤 昌哉
弁理士 鈴木 康裕	弁理士 紀田 馨	管理部長 菅野 公則	

■東京本部 千112-0011 東京都文京区千石 4-45-13 TEL: 03-3946-0531 FAX: 03-3946-4340
■六本木サテライト(商標) 千106-0032 東京都港区六本木 2-2-2-601 TEL: 03-6206-6479 FAX: 03-6206-6480
■北海道支部 TEL: 080-8516-4160 <https://www.eichi-patent.jp>

弁理士法人ピー・エス・ディ
The Patent Corporate Body PSD

代表 弁理士 内海 司
弁理士 齊藤 高明

〒060-0031 札幌市中央区北一条東1丁目4-1 サン経成ビル5階
TEL: 011-222-4775 FAX: 011-222-4751
E-mail: mail@us-psd.jp

企業成長のエンジン『すごい発明』

～令和5年度北海道地方発明表彰・受賞の発明特許等紹介(4)～

北海道経済産業局長賞

走行用油圧動力伝達装置の 制御方法

(特許第5364652号)

【発明者】

平山 英樹 株式会社NICHIGO 執行役員 技術総括部長
高橋 伸和 株式会社NICHIGO 制御開発部



発明者、賞状

本発明は、ロータリ除雪車等の過負荷によるエンジン停止や軽負荷時のモータ過回転を防止するため、走行用HST(Hydro Static Transmission)の増速側に増加率の上限及び減速側に減少率の下限を設けることで安全な運転を可能とするソフトウェアである。

ロータリ除雪車は足踏みペダルまたは手動レバーによる指令値に見合った制御信号でHSTポンプ・モータの斜板を動かしている。従来、急加速時はポンプ吐出流量の急増による負荷の増加が原因でエンジンが停止したり、不整路面で車輪が浮くなどした場合、負荷の軽いモータに過回転が生じていた。また、急減速時はポンプ吐出流量の急減により、モータからポンプが回され過回転が発生することがあり、車両機器に大きな負荷が掛かっていた。本発明では、増速側に増加率の上限、減速側に減少率の下限を設けることで、これらの課題を解決した。

本発明により、経験の浅いオペレータが間違った操作を行っても車両に負荷をかけることなく安全な運転を行うことが可能となった。また、従来システムに対してソフトウェアを変更するだけで適用可能であり、追加機器の必要は無いため、低コストで機能を向上することができる。



ソフトウェアを搭載した制御器



本特許製品のロータリ除雪車

第一東京国際特許事務所

Kojima & Associates

<http://www.kojima-pat.com>

所長・弁理士 河合 典子

副所長・弁理士 安本 真珠美 弁理士 小島 佑太

会長・弁理士 小島 高城郎

◆取扱分野◆

ソフトウェア・メカロ・電気電子・食品・機械・建築・化学・商標・意匠・
外国出願・審判・訴訟(侵害対策含む)等

【本部】〒100-0006 東京都千代田区有楽町2丁目10番1号 東京交通会館9階
TEL: 03-3284-0301 (代) FAX: 03-3284-0305 (代)
E-mail: 1)kojima-p@suite.plala.or.jp
2)tk-tokyo@kojima-pat.com

弁理士法人 特許・商標・意匠・訴訟・セミナー 佐川国際特許商標事務所

代表弁理士 * 佐川 慎悟

弁理士 * 川野 陽輔

弁理士 * 江部 陽子

弁理士 * 大窪 智行

弁理士 * 太田 清子

(*特定侵害訴訟代理業務認定)

取扱分野

ソフトウェア・バイオ・食品・機械・建築・リサイクル関連

〒060-0042

札幌市中央区大通西5丁目11番1号 中央日土地札幌大通ビル3階
TEL 011-261-2590 FAX 011-215-0087



令和5年度入会会員の紹介 広葉樹合板株式会社

《組織概要》

代表者 代表取締役 山口 裕也
 所在地 (本社)旭川市東鷹栖東2条2丁目137番372
 (その他)札幌市、太田市(群馬県)、
 府中市(広島県)
 設立年 1971年1月
 従業員数 40名(4月1日現在)



当麻町の皆さんとの植林

《事業内容》

合板卸売業として創業した弊社は現在、卸売業の他に、合板製造メーカー、そして合板化粧板などの材料により、より良い空間提供を目的として設計・製作・施工まで一貫して行う製造開発業の大きく3つのフェイスをもって事業を展開しております。また地球温暖化が叫ばれる昨今、再生可能エネルギー事業にも取り組み始めております。現在約12.5メガの太陽光発電をグループ全体で稼働しております。

《知的財産権の活用》

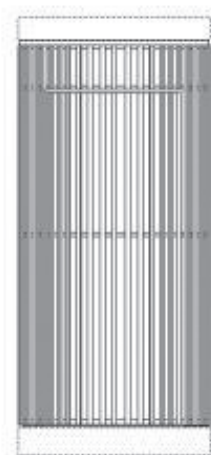
弊社では、全国郵便配送対応の滑り防止機能付きユニット階段システム「ラフステップ」など、以前より商品開発に注力し、意匠登録および商標登録を行ってまいりました。

2021年11月には、北洋銀行様主催の「知財ビジネスマッチング」イベントにおいて株式会社イトーキ様との個別面談のなかで、「仮眠ボックス」特許ライセンスの御説明を受け、世界初のユニークな商品開発をしてみたいという強い思いから、イトーキ様とのお打合せを経て、特許ライセンス契約を2022年7月14日に行いました。そして2023年8月1日に商品名giraffenap(ジラフナップ)のリリースを行い2024年1月より提供を開始しました。なお、giraffenapを開発製造するための技術や設備は全て既存のものに対応することが可能でした。

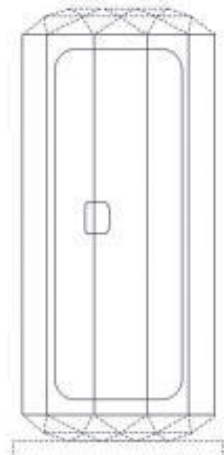
これからも弊社は新たな需要を模索し、過去にない商品の開発を進めていくことにより社会に貢献していきたいと考えております。



商標登録6690992



意匠登録1756981
仮眠ボックス



意匠登録1756980
仮眠ボックス



開放特許の紹介

開放特許紹介 No.054

特許の名称(登録番号)	コンクリート付着部材(特許第4853748号)
特許権者	前田 博文
連絡先(電話番号)	一般社団法人北海道発明協会 特許流通サポーター 石田 札幌市北区北7条西4丁目1-2 KDX札幌ビル5F(011-747-7481)
ライセンス情報	L2016000968

《背景と目的》

阪神・淡路大震災などの大地震で被害が大きかった住宅の基礎の特徴は、鉄筋からコンクリートが剥がれ落ち、崩壊しているケースが多いことである。鉄筋コンクリートの強度を上げるためには、鉄筋をダブルにしてコンクリートの呼び強度を上げる方法があるが、基礎で壁の厚さが15cm以下のものはコンクリートのかぶりの必要性からシングル鉄筋を余儀なくされ、鉄筋に対するコンクリートの付着量が限られてしまう。このため、耐震性の向上には鉄筋を太くしたり、間隔を縮める事で鉄筋の数を増やして強度を上げているのが現状である。

本発明は、鉄筋を太くしたり増やすことなく、鉄筋を囲むようにコンクリート付着部材を取り付け、コンクリートの付着量の増加を図る事で、耐震性の向上が期待できるコンクリート付着部材と、付着部材を備えたコンクリート構造物を提供する。

《本特許の概要》

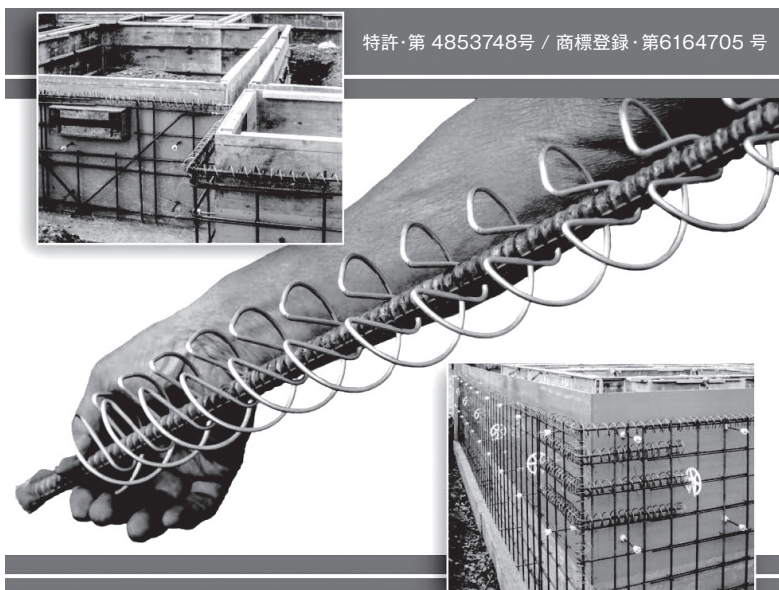
コンクリート付着部材は連続リング状で、リング周辺に1周毎に1箇所、リング周辺から中央に至る形状の取り付け部分を設けている。この取り付け部分を鉄筋に嵌め込み、リング中央に鉄筋を定着することによって、コンクリートの付着量が増加し、同等配筋の構造物であれば付着部材を備える事によって剛性、粘着強度が増加するため、地震の揺れ、土圧に対してのひび割れ、崩壊を防ぐ効果が期待できる。

《本特許の特徴・効果》

- (1)ひび割れ発生前の剛性は従来比4.34倍!!
- (2)設計完了後、組み終えた鉄筋に施工できる。
- (3)鉄筋への取り付けはワンタッチの簡単施工。
- (4)保管・運搬時の取り扱いも容易。
- (5)現場で優れた作業効率。



コンクリート付着部材を鉄筋に取り付けた様子と施工事例



《利用分野・適用製品》

住宅の基礎や壁、塀、ベランダなどの鉄筋コンクリート構造物。

必見! INPIT(インピット)にゅ〜す(第21話)

「必見! INPIT(インピット)にゅ〜す」は、知財に関する気になる疑問や情報を時には真面目に、時には脱線しながら不定期に発信するゆる〜い読みものです。サラッとながめる気分で読んでくださいね。



こんにちは、中山信司です。

以前食品メーカーに勤務していたことがあり、品質管理部門でクレーム対応に関わっていた時期があります。真っ当なクレームならともかく、「今回のクレーム、ちょっと大変かも?！」と思われるクレームでも慎重に、を心掛けなければなりません。

●ちょっと大変かも?!というクレームの一例

- ・ボリュームある商品のほとんどを使いきって残り僅かになったところで持ち込み「今回買ったこの商品の味がおかしい!」
- ・「鍋で調理していたら髪の毛が浮いていた。おたぐの商品に入っていたと思う!」
- ・お湯で溶かして飲むスープ商品で、飲みかけを持ってきて「しょっぱい!」
- ・賞味期限を遥かに過ぎた未開封商品を持ってきて「外装がよれよれで色もくすんでる!」
- ・死んだ直後の(と思われる)虫とか義歯らしき塊を送ってきて「お宅の〇〇商品に入っていた!」といった具合。世の中にはいろんな人がいるもんです。



なににせよ、クレーム対応は会社にとっては大切な仕事なのでそれでもきちんと対応するのです。

◎スタートアップとは?ベンチャーとは?

日本ではよく、スタートアップやベンチャーなどと呼ばれる企業があります。何が違うのでしょうか?

実は明確な違いがあります。

「スタートアップ」は、今までの常識を壊して新たな価値(過去に事例のない新規ビジネス)を展開する企業や組織です。ゼロから作り上げるため失敗のリスクも高く、需要や知名度がないことから創業当初は赤字になるものの、事業が軌道に乗れば株式上場や事業売却も可能です。例を挙げるとGoogleやAmazon、Facebookなどが該当します。

それに対して「ベンチャー」は、既存のビジネスモデルをベースとし、そこに独自の変化や工夫を加えて着実な成長を目指すため、初期段階から一定の収益が見込めます。黒字を維持しつつリスクの少ない経営を目指し、長期的にゆっくり成長していきます。日本ではソフトバンクが当てはまります。



INPITでは、スタートアップ企業の知的財産に関する失敗ショートドラマ「スタートアップは突然に」を公開しています。ぜひご覧ください。



本日はここまで。お読みいただきありがとうございました。

INPIT(インピット)知財活用支援センター地域支援部専門員(北海道統括) 中山信司

令和5年度北海道発明・考案月報


特許の部

発明の名称	住所	会員	出願人氏名(※印は発明協会会員)	登録番号	公報発行日
【道央地域】					
●手洗い状態の可視化判定装置および手洗い状態の可視化判定方法	札幌市		地方独立行政法人北海道立総合研究機構 外1	7426606	2.2
●食後血糖値上昇抑制用組成物及びその製造方法	札幌市	※	雪印メグミルク株式会社	7426820	2.2
●旅行予約情報入力システム	札幌市		株式会社アジェンダ	7427178	2.5
●マイル管理サーバ及びマイル管理方法	札幌市		株式会社MILE SHARE	7427229	2.5
●睡眠改善用組成物及び組成物を含む食品、医薬品、飼料	札幌市	※	雪印メグミルク株式会社	7428480	2.6
●ナチュラルチーズ	札幌市	※	雪印メグミルク株式会社	7428506	2.6
●乳含有食品の製造方法及び当該製造方法により製造された乳含有食品	札幌市	※	雪印メグミルク株式会社	7428840	2.6
●糖の吸収抑制剤	札幌市		国立大学法人北海道大学 外1	7428991	2.7
●通信端末、画像処理システム及び画像処理方法	札幌市		エコモット株式会社	7429375	2.8
●ナチュラルチーズの製造方法	札幌市	※	雪印メグミルク株式会社	7429918	2.9
●落口枞用取付部材及び落口枞	蘭越町		但木 淳一	7430354	2.13
●浮体式洋上風力発電システム	札幌市	※	株式会社 セテック	7430859	2.14
●心不全の病態の評価のための方法、バイオマーカー、候補化合物の評価方法、医薬用組成物及び心不全の治療剤	札幌市		国立大学法人北海道大学	7430916	2.14
●固形燃料燃焼装置	札幌市		株式会社エルコム	7430919	2.14
●マンホールポンプ異常検知方法	札幌市		エコモット株式会社	7431390	2.15
●マンホールポンプの劣化予測方法	札幌市		エコモット株式会社	7431391	2.15
●農作業機コントローラ	千歳市		株式会社IHIAグリテック	7431669	2.15
●農作業機	千歳市		株式会社IHIAグリテック	7431671	2.15
●真皮線維芽細胞の機能賦活剤及びそれを含んでなる化粧品	恵庭市		日生バイオ株式会社	7433685	2.20
●間葉系幹細胞増殖促進用組成物及び認知機能改善用組成物	札幌市		北海道公立大学法人 札幌医科大学	7435958	2.21
●解析方法、解析装置及び解析プログラム	札幌市		国立大学法人北海道大学	7436987	2.22
●川裏用簡易ゲート	札幌市		中大実業株式会社	7437034	2.22
●フラップデスク	札幌市		株式会社トリホールディングス	7438294	2.26
●子牛の飼育方法	札幌市		国立大学法人北海道大学	7438499	2.27
●金属部材の切断支援装置及び切断システム	札幌市		北海道電力株式会社	7439166	2.27
●コンクリートバイブレータ	札幌市		日本高圧コンクリート株式会社	7440048	2.28
●化合物の分解方法及び化合物	札幌市		国立大学法人北海道大学	7440725	2.29
●情報処理装置及びプログラム	札幌市		株式会社調和技研	7440844	2.29
●細胞培養デバイスおよび細胞培養方法	札幌市		久保木 芳徳	7440853	2.29
【道南地域】					
●弾性表面波フィルタ及び弾性表面波デバイス	函館市		NDK SAW devices株式会社	7429612	2.8
●銅合金継目無管の製造方法及び熱交換器の製造方法	室蘭市		国立大学法人室蘭工業大学	7432315	2.16
●新規オピオイドペプチド、その糖鎖付加体及びそれらを含む医薬組成物	室蘭市		国立大学法人室蘭工業大学	7437578	2.26
【道北地域】					
●画像処理装置、画像処理方法、およびプログラム	旭川市		国立大学法人旭川医科大学	7426712	2.2
●収納装置	美深町		杉田 文枝	7432043	2.15

実用新案の部

考案の名称	住所	会員	出願人氏名(※印は発明協会会員)	登録番号	公報発行日
【道央地域】					
●コンクリート構造物の端部、隅部の角を丸く、滑らかにしたコンクリート構造物。	札幌市		前田 博文	3245525	2.2
●釣り仕掛けを浮上させる補助具	札幌市		三上 力	3245687	2.19
●コインロッカー装置およびこれを備えたコインロッカーシステム	札幌市		日本自動保管機株式会社	3245723	2.21
●水耕栽培用パネル	千歳市		株式会社積水化成部品北海道	3245837	2.27
【道北地域】					
●繋ぎ床板	稚内市		有限会社道北資材	3245617	2.9

弁理士と弁護士が協働する知財×法務のトータルサポート！



知財戦略パートナーズ
弁理士法人T&N 長友国際法律事務所

弁理士・法務博士 **常本 俊幸** 代表弁理士 長友 隆典

国内／国外 特許・商標・意匠・セミナー・契約・係争
～取扱分野～
AI・IoT・ビジネスモデル・電気・機械・食品・農林水産関連

所在地 〒063-0811 札幌市西区琴似1条4丁目3-18 紀伊國屋ビル3階 長友国際法律事務所
電話 011-600-2304 FAX 011-590-1562
Email ip@nagatomo-international.jp URL https://chizai-partners.net

証券コード 7850



企業価値を高めるセールスプロモーション
総合商研株式会社

【本社／札幌工場】
〒007-0802 札幌市東区東苗穂2条3丁目4-48
TEL.011-780-5702 FAX.011-780-5662

◆令和6年5月 無料相談会のお知らせ◆

		① 知財総合支援	② 特許流通支援	① 知財総合支援★	③ 日本弁理士会北海道会
日	曜日	●印支援・相談対応日			
1	水	●※			
2	木	●			
3	金				
4	土				
5	日				
6	月				
7	火	●		●	
8	水	●※		■札幌	
9	木	●			
10	金	●		■旭川	●
11	土				
12	日				
13	月	●※		●	
14	火	●		●	●
15	水	●※		■帯広	
16	木	●			
17	金	●		■旭川	●
18	土				
19	日				
20	月	●※		●	
21	火	●		●	
22	水	●※		■函館	
23	木	●		■北見	
24	金	●▲			
25	土				
26	日				
27	月	●※		●	
28	火	●		●	●
29	水	●※			
30	木	●			
31	金	●			●

① 知財総合支援窓口

〒060-0807 札幌市北区北7条西4丁目1-2
KDX札幌ビル5階
月～金(9:00～17:00)
TEL 011-747-8256 FAX 011-747-8253
※弁理士 ▲弁護士(14:00～17:00)【予約制】
弁護士の相談日は第4金曜日です。
5月の相談日は24日です。

★〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目
経済センタービル9階
(公財)北海道中小企業総合支援センター内
月・火(13:00～16:00)【火曜日のみ予約制】
★TEL 011-232-2402

出張相談会

- 札幌 5月8日(水)13:00～16:00
〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目
経済センタービル1階 札幌商工会議所
TEL 011-231-1766
- 旭川 5月10日(金)11:00～16:00
5月17日(金)11:00～16:00
〒070-8540 旭川市常盤通1丁目2500
旭川商工会議所 TEL 0166-22-8411
- 帯広 5月15日(水)11:00～17:00
〒080-0012 帯広市西2条南11丁目12番地1
LAND会議室 TEL 0155-65-4167(帯広市経済企画課)
- 函館 5月22日(水)11:00～16:00
〒040-0063 函館市若松町7-15
函館商工会議所 TEL 0138-23-1181
- 北見 5月23日(木)13:00～16:00
〒090-0023 北見市北3条東1丁目
北見商工会議所 TEL 0157-23-4111

② 特許流通支援窓口

〒060-0807 札幌市北区北7条西4丁目1-2
KDX札幌ビル5階
月～金(9:00～17:00)
TEL 011-747-7481 FAX 011-747-8253

③ 日本弁理士会北海道会

〒060-0807 札幌市北区北7条西4丁目1-2
KDX札幌ビル3階
火・金(14:00～16:00)【完全予約制】
TEL 011-736-9331 FAX 011-736-9332

編集後記

先日、北海道知的財産戦略本部(本部長:北海道知事)の幹事会に出席した。知財戦略推進計画(令和4～7年度)の中間レビューや令和6年度に向けた課題などが議題となったが、当協会は、特許流通サポーターや知財総合支援窓口によるスタートアップ・中小企業等への知財活用の支援という大きな役割を担っている。令和5年度の相談件数は前年より減少し、3千件を下回ったが、新たな利用者が着実に増えている。地方発明協会の事務局である商工会議所や支援機関、自治体などの協力が大いに感謝したい。課題として多くあがっていたのが、知財に関する支援機関や支援メニューの情報が事業者にタイムリーに伝わっていないといった「情報発信」の課題と、知財の知識を持つ人材を増やす必要があるといった「人材育成」の課題である。いずれも、当協会においても大切なテーマであり、引き続き、会員の皆様のお力をお貸しいただけるよう、協力をお願いしたい。



(おぬき)